

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 28 日 (2014.8.28)

【公開番号】特開 2013-181130 (P2013-181130A)

【公開日】平成 25 年 9 月 12 日 (2013.9.12)

【年通号数】公開・登録公報 2013-050

【出願番号】特願 2012-46976 (P2012-46976)

【国際特許分類】

C 08 F 226/02 (2006.01)

【 F I 】

C 08 F 226/02

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 15 日 (2014.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

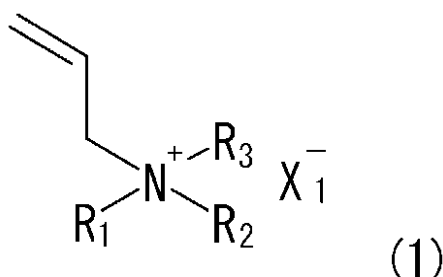
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

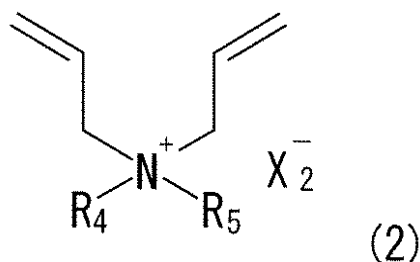
下記一般式 (1) で表される化合物、

【化 1】



[式中、 R_1 、及び R_2 は同一又は異なって水素原子又は炭素数 1 ~ 3 の直鎖又は分岐のアルキル基又はメトキシエチル基又はメトキシプロピル基又はエトキシエチル基を表し、 R_3 は水素原子又は炭素数 1 ~ 3 の直鎖又は分岐のアルキル基又はメトキシエチル基又はメトキシプロピル基又はエトキシエチル基又はフェニル基を表す。 X_1 はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。] 及び下記一般式 (2) で表される化合物、

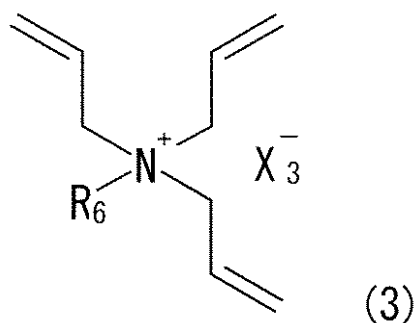
【化 2】



[式中、 R_4 、及び R_5 は同一又は異なって水素原子又は炭素数 1 ~ 3 の直鎖又は分岐のアルキル基又はメトキシエチル基又はメトキシプロピル基又はエトキシエチル基又はフェニル基を表す。 X_2 はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオ

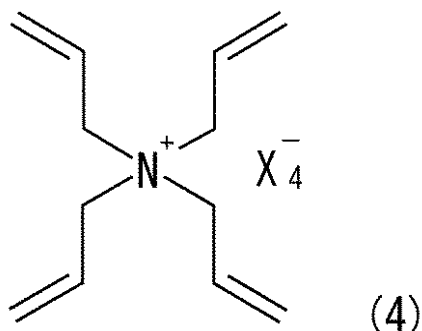
ンを表す。]の中から選ばれる少なくとも１種と、下記一般式（３）で表される化合物、

【化３】



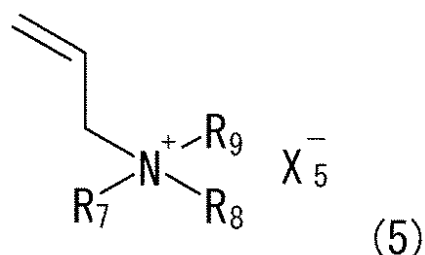
[式中、 R_6 は水素原子又は炭素数 1 ～ 3 の直鎖又は分岐のアルキル基又はメトキシエチル基又はメトキシプロピル基又はエトキシエチル基又はフェニル基を表す。 X_3 はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。]及び下記一般式（４）で表される化合物、

【化４】



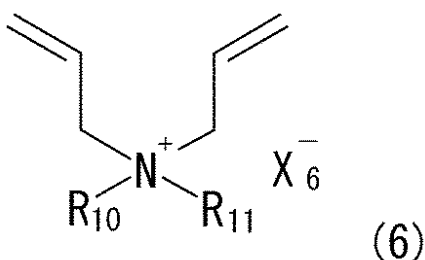
[X_4 はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。]の中から選ばれる少なくとも１種と、下記一般式（５）で表される化合物、

【化５】



[式中、 R_7 、及び R_8 は同一又は異なって水素原子又は炭素数 4 ～ 18 の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表し、 R_9 は炭素数 4 ～ 18 の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表す。 X_5 はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。]及び下記一般式（６）で表される化合物、

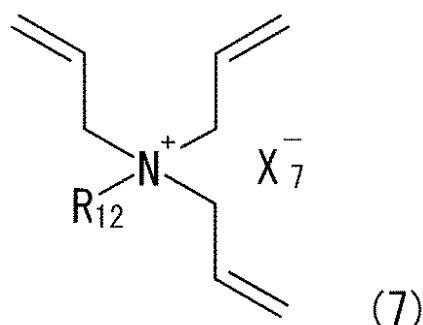
【化６】



[式中、 R_{10} は水素原子又は炭素数 4 ～ 18 の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベ

ンジル基又はフェニルエチル基を表し、 R_{11} は炭素数4～18の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表す。 X_6 はハロゲン化物イオン、水酸化物イオンまたは有機酸、無機酸のアニオンを表す。]及び下記一般式(7)で表される化合物、

【化7】

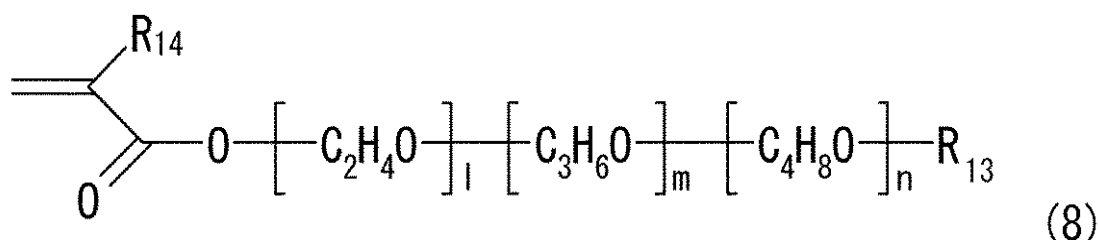


[式中、 R_{12} は炭素数4～18の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表す。 X_7 はハロゲン化物イオン、水酸化物イオン又は有機酸、無機酸のアニオンを表す。]の中から選ばれる少なくとも1種とを、1～98/1～98/1～98モル%の比率で多元共重合を行って得られる高分子であって、高分子鎖中にペンダントアシル基を1個以上含有することを特徴とする反応基を有する新規な両親媒性のカチオン性高分子組成物。

【請求項2】

請求項1記載の一般式(1)、(2)、(5)、(6)で表わされる化合物の中から少なくとも一種と、請求項1記載の一般式(3)、(4)、(7)で表わされる化合物の中から少なくとも一種と、下記一般式(8)で表される化合物、

【化8】



[式中、エチレングリコールユニットの繰り返し単位は $l = 0 \sim 30$ 、プロピレングリコールユニットの繰り返し単位は $m = 0 \sim 13$ 、ブチレングリコールユニットの繰り返し単位は $n = 0 \sim 6$ を表す($l + m + n = 0$)。 R_{13} は水素原子又は炭素数1～18の直鎖、分岐又は環状のアルキル基又はベンジル基又はフェニルエチル基を表す。 R_{14} は水素原子又はメチル基を表す。]の中から選ばれる少なくとも1種とを、1～98/1～98/1～98モル%の比率で多元共重合を行って得られる高分子であって、高分子鎖中にペンダントアシル基を1個以上含有することを特徴とする反応基を有する新規な両親媒性のカチオン性高分子組成物。